

第1回 加茂市立小中学校適正規模等検討委員会 会議録

■ 日 時 令和3年8月5日(木) 15:00~17:05

■ 場 所 加茂市役所5階 第1委員会室

■ 出席者

・委員 17人

遠藤英和委員 滝沢茂秋委員 中村幸一委員 中山勇委員
皆川輝一委員 土田秀男委員 栢森耕太郎委員 平野政幸委員
阿部奈穂子委員 亀山弘子委員 茂野芳子委員 中林利恵委員
市村正子委員 高畑結城子委員 目黒悦子委員 小出浩輔委員
笹川裕子委員

(欠席(2人)) : 樋口明宏委員 松原啓委員)

・加茂市長 藤田明美 (途中から出席)

・事務局 7人

加茂市教育委員会

教育長 山川雅己 庶務課長 草野智文 学校教育課長 北原利章
社会教育課長 有本幸雄 スポーツ振興課長 五十嵐卓
庶務課庶務係長 長澤敦 庶務課主査 牛腸泰介

・教育委員(オブザーバー) 4人

加茂市教育委員(教育長職務代理) 金澤理久夫
加茂市教育委員 乙川智子
加茂市教育委員 田邊俊樹
加茂市教育委員 藤田和子

■ 傍聴者 2人

- 議 事
1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 市長挨拶
 4. 教育長挨拶
 5. 自己紹介
 6. 会長選出・副会長指名
 7. 会長・副会長挨拶
 8. 諮問
 9. 議事

- (1) 検討委員会の運営・審議の方針について
 - (2) 令和3年度スケジュールについて
 - (3) 加茂市立小中学校の現状について
 - (4) 加茂市立小中学校の現地視察について
10. その他
 11. 閉会

1. 開会

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・17人の委員の出席をもって、「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会設置要綱」第6条第2項により、会議開催の成立を報告する。

2. 委嘱状交付

3. 市長挨拶

（市長は途中からの出席であり、閉会時に挨拶をおこなう。）

4. 教育長挨拶

- ・この度は加茂市立小中学校適正規模等検討委員会委員就任についてお引き受けいただき、誠にありがとうございます。
- ・学校を取り巻く昨今の環境はめまぐるしく変化しているところであり、最近ではGIGAスクール構想に代表されるように1人1台の端末が貸与されるなどの急激な変化があるものの、子ども達の学びを深めるためには大変有効なツールでもあります。
- ・授業を見学したなかでは、子ども達はこの端末を駆使して理解を深める授業が展開されています。
- ・ICTによる教育活動は始まったばかりではありますが、更に研究が進み、子ども達のダイナミックな活動がみられることが期待されます。
- ・一方で、人口減少に伴う少子化は全国的な課題であり、特に地方都市では喫緊の課題となっています。
- ・加茂市も同様で、この課題には行政だけではなく、あらゆる産業分野でも課題となっており、解決策の立案が急がれているところです。
- ・このような状況から、加茂市の学校教育はどうあれば良いのか、子ども達にとって必要なことはどんなことなのかを委員の方々からじっくりと考えていただき、ご意見を賜りたいと存じますので、長丁場になりますが、よろしくご審議をお願いいたします。

5. 自己紹介

6. 会長選出・副会長指名

- ・「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会設置要綱」第5条第2項により、会長に遠藤英和委員が委員の互選により選出された。
- ・「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会設置要綱」第5条第2項により、副会長は委員の中から会長が指名することになるため、遠藤会長が副会長に栢森耕太郎委員を指名した。

7. 会長・副会長挨拶

遠藤会長 挨拶

栢森副会長 挨拶

8. 諮問

(教育長が【資料3ページ】「諮問書」を朗読、会長へ諮問書を手渡す。)

(「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会設置要綱」第6条第1項により、会長が議長となる。)

9. 議事

(1) 検討委員会の運営・審議の方針について

事務局(庶務課 長澤係長)

- (・【資料4ページ】「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会の運営・審議の方針について」、【資料5ページ】「会議の傍聴に際し、守っていただきたい事項」に沿って説明。)

委員

- ・学校数、学級数の適正規模数までは答申しないということでしょうか。
- ・学校数、学級数の適正規模数は別の組織を立ち上げて議論するというのでしょうか。

事務局(庶務課 長澤係長)

- ・子ども達にとって望ましい、特色ある教育環境や教育活動とは何かを話し合っていた先に、適正と思われる学校数や学級数が決まってくるのではないかと思いますので、答申に入れていただければありがたいと思います。
- ・なお、どこの学校とどこの学校を統合するなどといったことについては、この検討委員会で議論することは難しいのではないかと思いますので、この検討委員会の答申をもとに、別の検討委員会等で議論するほうが良いのではないかと思います。

事務局(庶務課 草野課長)

- ・この検討委員会の諮問については基本的な方針を問うものであり、その中で「複数の学級があった方がよい」などのご意見が出てくるかとは思いますが、具体的に「どこどこの学校の校区を一緒にする」などの答申までは求めていませんので、ご理解い

ただきたいと思います。

□委員

- ・方向性とすれば、望ましい教育環境というものをここで検討し、その中で適正と思われる具体的な規模数は結論づけられるかもしれないし、結論づけられないかもしれないといった考え方で良いですか。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・おおまかな数は出して良いと思います。法令や県の基準もありますので、複数の学級があった方が良いとなれば、各学校各学年に2・3学級の編成が望ましいなどといった数が出てくるかと思います。

□会長

- ・この検討委員会では、あらためて「適正規模とは何か」ということを理解しなければならないと思います。
- ・また、適正配置をはかる範囲など、この検討委員会なりの考え方を進言できるようにしていくのが良いのではないかと思います。
- ・この検討委員会で出し合った知恵をまとめて、事務局から答申案を出してもらい、実現可能か否かも含めて考えながら提言していくということと解釈しています。

□会長

- ・それでは、本検討委員会会議は事務局案のとおり運営することにします。

(2) 令和3年度スケジュールについて

□事務局（庶務課 草野課長）

- （・【資料6ページ】「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会スケジュール（案）」に沿って説明。）

□委員

- ・アンケートの件ですが、保護者のみを対象とするのではなく、地域全体の問題でもあるので、対象を更に幅広く、地域住民全体にしてはどうかと思います。
- ・また、子どもの素直な考えも反映させた方が良いのではないかと思います。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・今後、アンケートの内容を考えていく中で、対象者の範囲についても検討委員会にご相談したいと考えています。

□会長

- ・まだ、十分な情報が無い中でのスケジュール案（アンケート）であるため、今後の検討委員会で議論を深め、詳細を決めていくということでご理解ください。

(3) 加茂市立小中学校の現状について

□事務局（庶務課 長澤係長）

- （・【資料7～10ページ】「加茂市の人口減少と児童生徒数の推移」、【資料11ページ】「小学校・中学校学級編制基準」に沿って説明。）

- ・小学校については児童数が更に減少、学級数も減少、七谷小学校では計算上複式学級が毎年発生し、須田小学校も令和10年度以降は計算上の複式学級が発生する可能性があるという状況です。
- ・中学校では、既に部活動等に支障をきたしており、例えば、学校単独でチーム編成ができず他校との合同チームを編成せざるを得ない、選択できる部活動が極端に少ない、生徒が集まらないために休部や廃部にせざるを得ないなどの状況が続いています。
- ・複式学級（小規模校）のメリットとして、1人1人の児童生徒に対してきめ細やかな指導が行いやすい、様々な活動を通じて1人1人がリーダーを務める機会が多くなる、小規模ならではの保護者や地域と連携した指導ができるなどが挙げられる一方、デメリットとして、教員に特別な指導技術が求められる、単式学級と異なる指導順となるため学年の組み合わせによっては授業が複雑化し児童生徒が戸惑いやすい、転校した場合に同じ学年でもまだ習っていない内容があるため戸惑いやすい、兄弟姉妹が同学級になる可能性がある、少数であるが故に多様な発言が引き出しにくいなどが挙げられます。
- ・一概に複式学級が良い悪いとは判断できませんが、加茂市においては今のところ、できる限り単式学級を維持できるように教職員を配置して運営しているところです。

□会長

- ・ここで10分間の休憩をとります。

～ 休憩 ～

（休憩後から市長が出席。）

□委員

- ・検討委員会の目的や話し合うテーマをより具体化できれば議論しやすいと思います。

□委員

- ・小規模校や複式学級が存在する小学校に勤務した経験から、複式学級で言えば、学年によっては履修すべき教科が異なるため、学年の組み合わせによっては教科指導が大変になります。
- ・また、説明でも触れていましたが、小規模校では個々に対してきめ細やかな指導ができやすい反面、学年によっては児童の人間関係が固定化しやすいなどの弊害も生じる場合があります。
- ・実際、小規模校では児童の顔が見えるし保護者の顔も見え、全教職員で児童を指導できたという良い経験もありました。
- ・「地域をあげての学校」という面もあり、児童数が減少しているからということだけで一概に統廃合を進めることはできないと思います。
- ・中学校では部活動の問題、学校単独でチーム編成ができないなどの状況は人間関係を育み、活動の幅を広げるうえで大きな問題と認識しているので、この検討委員会で話し合っていきたいと思います。

□会長

- ・私なりに考えてみますと、加茂市はこれまでも一定の教育効果を上げてきており、現

状や課題を把握し、より教育効果を高めていくにはどうしたら良いのかという視点をもつことが大事だと思います。

- ・そのプロセスの中で個別的な学びや集団的な学びの問題もおのずと出てくるのではないかと思います。
- ・今から40年ほど前、新潟県内の全小学校のうち、小規模校[※]は60%以上でしたが、小規模校で充実した教育ができていたからこそ新潟県の教育が良くなっていると解釈しています。
- ・ただし、昨今の教育環境はめまぐるしく変化しており、我が国のICT教育は先進国の中では周回遅れになっているかもしれませんが、そういった色々な要素を入れていながらこれからの学校、学級がどうあれば良いのかを現地視察もしながら考えていきたいと考えています。
- ・委員がおっしゃっていたように、ご自身の貴重な経験などをこの検討委員会で最大限反映させていければ良いと考えています。

([※]: 一般的には、小学校では「11学級以下」を小規模校と定義していますが、この場では「12学級以下」としていただきます。)

□委員

- ・我が子が通学している小学校は地域と密着して教育活動を展開し、地域の方々もそれを盛り上げており、とても良い印象を持っています。
- ・今のところ1学級20人程で和気あいあいと運営している感がありますが、今後仮に1学級になると多人数になるため少し不安な気持ちがあります。

□会長

- ・委員さんのご意見について、保護者の視点からの声も大事だと思いますので、今後積極的に教えてください。

□委員

- ・我が子が通う中学校では1人だけの特別支援学級がありますが、担任の先生などからきめ細かく指導をいただいております。
- ・ただし、部活動で支障をきたしていることは確かであり、選択できる部活動の数が少ないため、少し気の毒であると感じています。

□会長

- ・どこの市町村でも言えますが、適正規模を考える際に部活動の問題、選択肢を増やせないものかということについて重要視されています。
- ・生徒間で切磋琢磨することの意味は大きいと思いますので、ご意見をいただければありがたいです。

□委員

- ・この先、統廃合について現実味を帯びてくると思いますが、部活動の問題も考えながら進めていく必要があると思います。

□委員

- ・加茂市には大きく4つの地域（七谷・加茂・下条・須田）から構成されており、適正

配置等を考える際はそれぞれの地域の特色を生かすことが必要だと思います。

- ・これまで、学校があったおかげで地域が発展してきたという一面があります。
- ・例えば、加茂中学校が現在の学校町にできたことで赤谷や陣ヶ峰といった住宅地が発展した一面がありますし、加茂暁星高等学校が中央短期大学、新潟経営大学を設置していくなかで都ヶ丘や希望ヶ丘といった地域が発展してきた一面もあります。
- ・地域の中心地に加茂西小学校があったことで、西地区の発展に寄与してきた一面もあります。
- ・統廃合（学区再編）にあたっては、地域の発展（まちづくり）という面も考慮する必要があります。
- ・また、統廃合等の際は、校名をどうするかという問題も良く考えなければならないと思います。

□会長

- ・「地域の特色」は重要なキーワードになると思います。
- ・学校は地域の方々に支えられた教育施設であり、地域の文化やコミュニティー活動の中心として大切な役割を担ってきたことは事実です。
- ・また、「ふるさと加茂を愛する子どもの育成」は加茂市学校教育の重点でもあるので、私達は互いの意見をしっかりと受け止めて認識する必要があると思います。

□委員

- ・児童生徒数の減少に伴い、各学校の教職員数も減少するのですか。

□会長

- ・学級数や教職員配当数は、原則、法令上ならびに県の基準で定められていますが、必要に応じて県教育委員会と市教育委員会が協議することになっています。
- ・教職員配当基準と部活動の件について事務局に説明を求めます。

□事務局（学校教育課 北原課長）

- （・【資料11ページ】「小学校・中学校学級編制基準」、【資料12ページ】「小学校・中学校教職員配当基準」、【資料14ページ】「中学校部活動の状況」に沿って説明。）
- ・須田中学校を例にあげると、女子のみで編制するバレーボール部（8人）、男子のみで編制する卓球部（16人）以外の運動部が編制できない状況であり、文化部でも吹奏楽部（12人）と茶道部（1人）しかなく、生徒にとって非常に限られた中での選択となっている状況です。

□事務局（スポーツ振興課 五十嵐課長）

- （・【資料16ページ】「スポーツ少年団の加入状況」に沿って説明。）
- ・加茂市でもそれぞれの団体が積極的に活動しており、主な加入者は小学生ですが、部活動にはない種目（柔道・空手・バドミントン等）で技能を高めたい中学生の活動の場にもなっています。

□事務局（庶務課 牛腸主査）

- （・【資料11～30ページ】「学校別施設の状況」に沿って説明。）
- ・全体の状況としては、築40年以上の建物が全体の61%、更に築50年以上の建物が全体

の26%であり、また劣化状況評価がC・Dの建物が多いことから、築年数に比例して経年劣化が進んでいます。

- ・最も望ましい状況は、施設や設備に故障が出始める20年周期で数千万円～数億円をかけて大規模改修や長寿命化改修を実施することができれば、ほぼ新築に近い状態で建物等を使用することが可能となります。
- ・加茂市としても児童生徒の安全を考慮し、適切な維持管理・補修等を行ってきたところですが、財政上の理由等もあり、まとまった大規模な改修をしてこなかったことから、少しずつ老朽化が進行してきた状況です。
- ・現在の耐震化率は66.7%、今年度葵中学校の耐震化が完了すれば69.7%となる見込みですが、それでも未耐震の建物が10棟残ります。
- ・以上のことから、小中学校施設に関して、老朽化が進行していること、多数の未耐震建物があることの2つの大きな問題を抱えている状況です。

(4) 加茂市立小中学校の現地視察について

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・加茂市の小中学校の現状について、書面上だけでなく、実際に見ていただくため、現地視察を計画したいと思います。
- ・1回目の視察を9月13日(月)午前中、2回目の視察を10月に予定していますが、2班に分けて1日3校、2日間で各班6校を視察していただきたいと考えています。（詳細は当日配付資料のとおり。）

□委員

- ・事務局案では私は1班になっているが、2班に変更することは可能ですか。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・ご希望は承りますので、他にもあれば申し付けください。

□委員

- ・現地視察にあたって、視察する学校の学区内の環境状況、学校の教育の特色などの資料を用意していただけるとありがたいです。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・「学区内の環境状況」について具体的に教えてください。

□委員

- ・各学校で行われている教育活動は、地域に根差したものが多くあるのではないかと思いますので、例えば総合学習として行っているものであったり、地域の中でどういった施設があるのか、我々が教育に対して検討できるような資料をいただければありがたいです。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・できるだけご希望に沿うものを準備したいと思います。

□会長

- ・なお、現地視察当日に学校に直接聴取しても良いかと思えます。

□委員

- ・9月の現地視察は学校としては多忙の時期かと思うので、現場教職員の負担とならないように配慮して欲しいです。

□会長

- ・事務局は学校とよく話し合って調整してください。

□事務局（庶務課 草野課長）

- ・できるだけ学校の負担にならないように調整します。

□副会長

- ・学校現場を心配していただきありがとうございます。
- ・どの学校も一生懸命頑張っており、いつ視察していただいても構わないと思いますが、できるだけ教職員の負担とならないようにお願いします。

10. その他

□会長

- ・その他、事務局からございますか。
(なし)

11. 閉会

□市長挨拶

- ・この度は加茂市立小中学校適正規模等検討委員会委員をお引き受けくださり、ありがとうございました。
- ・加茂市では最上位計画である「加茂市総合計画」を策定中であり、9月末に完成する予定です。
- ・加茂市の将来を見据えて持続可能なまちづくりを目指し、計画を策定していますが、加茂市の教育についても同様であると考えています。
- ・「加茂市らしさ」を生かして、加茂市の子ども達が加茂市の学校でどのような学びを得ていくのか、その中で1人1人の良さを伸ばして、どう成長できるのかということを念頭におき、どのような環境を整えるべきなのか、大人にできることは何なのか、この検討委員会の議論がそれを考える足掛かりとなれば良いと期待しています。
- ・色々な立場、年齢の方から沢山の意見が出るのが良いことで、時には相反する意見があっても、議論していくことが加茂市の将来を担う子ども達にとって良いことになり、加茂市の将来に繋がっていくことになると思います。
- ・私としましても、市長として教育委員会と連携していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

□会長

- ・以上をもちまして、第1回加茂市立小中学校適正規模等検討委員会を閉会します。